

やってみたフラッグフットの実践

中村俊介（枚方市津田南小）

1. フラフトとの出会い

自分が今まで習っていた球技はバスケットボールでした。バスケットボールは4年生から始めて、高校3年生まで、8年間していました。バスケットボールの楽しさ、良さというものは何となくでしかわからなかったけど、とにかく楽しかったな。という思いがあります。しかし、ごりごりの精神論で教えてもらっていました。

そんなゴリゴリのバスケットが好きで、初任の時にバスケットボールの研究授業をしました。大阪支部の山本先生に、ラグバスを教えてもらい、なんとか終わったなという印象です。しかし、教えたい中身が全くなくなるとなくやったなという形でした。それから、高学年を持つことが何回もあり、バスケットボールの授業をすることが多かったです。しかし、教えたい中身が少しずつわかってきても、全くうまくいかず、結局上手い子が楽しんで、苦手な子はお客さん状態にしていた実践ばかりでした。バスケットボールが嫌いと思われていただろうと思い、自分が好きなだけ、何をしていたんだ、なんていう思いをさせてしまったのかと猛省をし続けています。

バスケットが悪いのか、自分が悪いのか、もちろん自分が悪いと思っていますが、少しバスケットのせいにしてるところもあります。そんなことはしてはいけなないと分かっていますが、少しバスケットボールから離れて、新しい球技の実践にチャレンジしたいなと思いました。

フラフトは、大阪支部の実技例会や実践報告の例会などで知ってはいましたが、なかなかピンとはこず、そのままにしていました。

前年度の大会で田中先生が発表していたのを聞いて、作戦を作って、実践してそれがうまくいった時の楽しさに触れて、これはやってみたいなと思えるようになりました。また、他の球技より、ボール操作がそれほどなく、お客さんを作らずに済むのだろうと思いフラフトにチャレンジしました。

2. 学校

枚方市で一番人数の多い学校で、全校児童950人で30クラスの大規模校で、外の体育の時間は、必ず2クラス合同で、学年がそろっているところと異学年のペアで運動場をつかうこともあります。

5年生は、5クラスなので、先生同士で話をするのも大変でした。また、そのうち一人は、体育軽減でたまに来られる先生、育休に入ったあとの先生、といったように自分もフラフトにあまり自信がない状態をお願いをするのも大変でした。

3. 子どもたち

- ・男女仲が良い。
- ・グループで活動はそこそこできる。
- ・真面目な子どもが多い
- ・割と一生懸命する。
- ・協力して、できる子は多い。

ちょっと気になる子

・M・・・すごく自信を持ってない子。何をしてもできない。最近日記に自分の思いを書いちゃったり、いやだったことを直接言えるけど、ネガティブな話が多い。それはそれでいいのだが、この子に「やれる」という思いを少しでももってもらいたい。どうしても引つ

込んでしまう。

・K・・・診断はうけてないが、かなりの多動性。ちょっかいをかけてコミュニケーションをとるので、周りの子どもから少し冷ややかに見られてしまうこともある。運動会の時に班長に立候補して取り組んだがうまくいかなかった。

4、ねらい

- ①球技の多様性（フラッグフットボールについて知る）
- ②誰もがQBになれる。（主役級も立ち位置）
- ③球技はうまい子が目立ち上手い子が楽しいというのではなく、全員が作戦（の意味）が分かる。作戦が実行できる。うまくなくても、作戦があればとっばできることもあることが分かる。（もちろん技術はいる）
- ④作戦を考えられる。（人に合ったもの）
- ⑤フラッグフットボールの楽しさが分かる。

5、学習内容

時	日	学習内容
①	1月8日	オリエンテーション
②	10日	3対2（インベーター）
③	22日	3対2（インベーター）
④	23日	3対2（インベーター）
⑤	24日	3対2（インベーター）
⑥	29日	1対1
⑦	30日	1対1（体育館）
⑧	2月5日	1対1
⑨	6日	2対1（体育館）
⑩	7日	2対1
⑪	12日	2対1
⑫	13日	2対1（体育館）
⑬	14日	2対1
⑭	26日	2対2
⑮	27日	2対2（ハンドオフ） （体育館）
⑯	3月7日	2対2

時	日	学習内容
⑰	11日	2対2
⑱	12日	2対2
⑲	14日	ゲーム
⑳	15日	感想

6、学習の流れ

①オリエンテーション

球技についてアンケート。予想では、球技を嫌が多いと思っていましたが、意外と好きな子どもが多いです。フラフトの話。フラフトは（ボールを持って相手の陣地に攻める。作戦を考えて相手の裏をつく）と話しました。youtubeでプレーしているものを見せ、この授業でみんながどうなりたいかの願いを聞きました。

班分けをする前に班長の立候補を聞いて、その班長が集まって黒板を使ってメンバーを決める。決め方は、あまり話してない人、運動能力に差がないように。（子どもから、チームに差がないようにと要望があった。）という事を伝えました。

②インベーターゲーム（3対2）

試しにインベーターゲームをする。とっばするにはどうしたらよいかを考ました。

③インベーターゲーム（3対2）

体育館で前回取ったビデオを見てどうしたら突破できているのかをみんなで考えました。突破できているのは・・・空間をせめている。「だれかが行くと空間があいてそこをとっばする」といった話が出て来ました。

☆わたしが思ったコツは、相手の目の方向を見て視線が自分に向いていないときにとっばするか、一人をディフェンス2人がとろうとしているときにとっばするという方法です。

④インバーダーゲーム（3対2）

前は体育館でやったのでせまくてなかなかとっぱできなかつたので、広いコートで、作戦を考えて実践しました。

☆私がやっていることは、亀井さんが相手を引き付けてもらったときに相手の目をぬすんでとっぱしています。これをどう作戦にしていくか決めていきたいです。

⑥1対1 試しに1対1をやってみる。突破できるコツを見つける。

・ぼくはくるくる回る作戦名付けて「羽生ゆずる作戦」をやりました。でも相手のチームにすぐとられてしまいました。さらに実際「1対1」ではなく「1対2」なのでしっかり作戦をたてていきたいです！

・後ろにさがりすぎるとおいつめられて取られてしまうからどんどん前に行く。あと相手が一人だからフェイントがつかえるんじゃないかと思った。

・1対1でフラフトをやったとき、勇気を出してまっすぐ走っていったらタグをとられず成功しました。きのうのフラフトで白井さんが一番強かったです。

相手を動かしてスペースを作る。(班で考えた作戦)

⑦1対1（体育館）どんな動きかよいかを考える。

前回撮ったビデオを全体で見確認をする。とっぱできたのがどうしてなのかを分析。前回の時点でフェイントはでていたので、小さいけど、フェイントっぽいしているプレーを見せて、これは何をしてる？聞いて、フェイント！ならフェイントをして何が生まれた？

スペース。などというやりとりを全体でしました。

・あんまりとっぱするコツが分からないから、とっぱするコツを知りたい。もっとタグをとりたい。

・先生がとった動画を見て今日実際にして、分かったことがあります。それは「フェイント」をうまく活用する。ということです。その事を基本として、次回やってみたいです。

・眼だけ進む反対をチラ見して反対に走るとぬけた。(攻め)

⑧1対1 さらにたしかめてみよう。

フェイントが有効なことはあらかた学習ができたので、実際にやって習熟していききました。

・一度後ろにさがってからフェイントをしたらいがいと2点とることができました。亀井さんみたいに走りは速くないからこの作戦を使いたい。

・フェイントを入れてやってみたけど、どうしてもさがってしまうので次はおもいきり前にでていこうと思った。

(ここまでで1対1をやって、下がり過ぎている。レディーゴーと言ってもなかなかいけないといったことも見られていた。頭でわかっているもうまくできないというのが見られた。)

1対1もやっていくうちにディフェンスもある程度習熟して、コートもせまいので、みんながみんな突破することができにくくなってきた。特に運動が得意な子でも突破できなくなって、「先生もう少しコートを広くして」という声があがったので、「それより増やすも

の無い？」と誘導したら、「攻めを二人にする」と言ったので、次から2対1をしようとなりました。

⑨ 2対1 (体育館) ガードを教える

前回1対1で難しいという声が出て来たということを全体に知らせ、ならどうしようかということなげかけ、攻めを増やそうとなり、2対1をすと言いました。そのときにガードの役割とやり方について説明をしました。

「ガードは何したらいい」「突破する道をつくる」「ガードの位置は」「守りの横らへん」など1問1答でやりとりをして、イメージはつかみました。

班で習熟。

・ガードマンをやったときに **QB** がみえないので守るのが難しかったです。

・ガードをつけるとかんだにとっばできた。けどしゅびがむずかしい。

⑩ 2対1 自分たちで作戦を考えて有効か確かめる

・はじまってすぐに左に行くというさくせんをしたらいけど、もっともっとさくせんをためてみて、いけるのを見つけていきたいです。

・何個か作戦を作ったけど、せいこうしなかったから次はせいこうするようにがんばりたいです。

・左だけにいどうしたらよゆうでいけた。(K)

⑪ 2対1 作戦を考えていく中でいくつかを紹介した。(子どもの考えより)

1、 右に行く

2、 左に行く

3、 右にスペースを作って左

4、 左にスペースを作って右

これを使って突破できるかをする。

・右にだけいくさくせんでやったけど、うしろにさがったからいけなかった。(K)

⑫ 2対1 息を合わせるための約束事を決める (体育館)

なかなか合わないようなので息を合わせるために2人のコンビネーションでどうするか約束事を決めさせました。(習熟)

・みんなすごくうまくなってきているからぜんぜんとれない。(K)

・ふみこみ作戦は、**QB** とガードの息が合わなかったから、3秒後に同時方向に行く作戦を組み合わせてみたらとてもうまくいったので、この作戦のバリエーション(種類)を増やして、全員突破できるようにしたいです。

・作戦を考えた時合図で行くというカッコイイ作戦になってよかったです。次したいことは作戦で合図がうまくいくかです。

⑬ 合図で突破できるかを確認

班で考えた合図が突破できるかを違う対戦相手で確認。

・作戦Aはとっばできた。ガードと**QB**が息をあわさないといけないからむずかしい。

・ぼくは、さくせんじたいはうまくいったけど、はやくいかなかったから行けなかった。

⑭日にちがかなり空いてしまったので、習熟ができていのかはイマイチだが、パスまでいきたいので、2対2を何も言わずやらせる。
→全く突破できないと感じてもらおう

・2対2になったらとてもむずかしかったです。相手が横にならんでいたら、とっぱするのはむずかしいけどたてになったらとっぱしやすかったです。

・2人は、むっちゃむずかしい。はさみうちでとられてしまう・・・

⑮ハンドオフを教える。

→2対2でかなり困っていた感想があったので、どうして困ったのと言うと、「QBだけ見たらいいし、分かるからはさみうちができる。」など言ってきたので、「ならQBが分からなくすればいい？」と聞いてちょっと困っていたので、「パス」とこっちから言った。そうすると混乱するよねとハンドオフを見せたら（Kはハンドオフを受けてもらう）すんなりいけたのを見て、かなり反応は大きかった。

・平野さんと小林さんの時に、平野さんがQBで小林さんがガードで、小林さんにボールをパスすると思ったらしなくてぬかれた。フェイクが上手でみぬけなかった。

・作戦成功しました！！作戦Bのわたすふりをしたら守りの人が「え～」と言っていたので、わたすふりはよかったんだと思いました。

・小山さんと自分でQBとガードをやりました。最初は自分がガードで小山さんがQBでした。ここで手渡しするはずだったけど、自分がまちがえて守備のすがさんをガードしてしまいました。そんなことがないようにしたいです。

⑯2対2

守備にも得点を入れてすぐにタグを取れるようにした。動きは前回と少し変わった様子にうかがえた。

・守りは今まで点とかなかったけど、点ができてから、、、HAPPY！うれしいです。守り得意なんで

⑰2対2

→ハンドオフを使って習熟

・ガードにわたすふりをしていくという作戦を作りました。だけど、一回も成功していないです。今日使ってとっぱしたいです。

・ボールをわたすやりかたがうまい人がいたのでわたしもまねしようと思いました。

⑱リーグ戦

→練習、確認を10分ほどとり、各二コート3チームが総当たり。

1回表裏の攻撃で3回する。それを2回の表裏までする。

⑳最後の感想

7、振り返り

大阪の研究部としても考察や、話し合いをしていただきました。

まずは、子どもたちの学習する環境を十分に整えてあげられなかったことが反省点です。コートを広くすることや、ルール作りの設定をあいまいなままにしてしまったので、子どもたちが十分突破する機会を与えられなかったです。

また、学習内容をはっきりとこちら側が持っていなかったため、子どもたちの「分かる」

がなかなか進まなかったのだらうと思います。

最後の子ども達の感想では、ほとんどが「協力できた。仲間との仲が深まった」といった感想が多く、フラフトを球技として楽しんだ様子はなかったです。「ゲーム」を楽しんだのだらうと思います。

そこには突破することの楽しさや、作戦を考えて、というものに触れることが少なかったのだらうと思います。

8、感想

まだまだ、自分の中にフラフトの技術面や、醍醐味というものを分かっていないので、なんとなくでやってしまったことが多いので、もう一度学んで実践をしていきたいなと思いました。子ども達も嫌がらずに一緒にやってくれたことに申し訳ないがあります。また、大阪支部で話して頂いた、パスを中心にするのか、積み上げ式で一つずつ分かってから、実践をしていくのかをもう一度それぞれのよしあしを考えて、取り組めたらいいなと思います。しかし、自分がよく分かってないことを学年で通してやろうとなるとすごく不安があるので、次やる時は小規模の学校で自分でのびのびとできたらいいなと思いました。